

施策マネジメントシート1(平成 31 年度目標達成度評価)

更新日 令和 2 年 6 月 25 日

事業番号 0030000014

総合計画体系	政策No.	04	政策名	暮らしやすく安全で安心なまちづくり	施策主管課	都市計画課
	施策No.	04	施策名	良好な住環境の実現		
関係課	道路課,総務課,政策企画課,土木管理課,河川課,都市計画課,都市整備課,建築指導課,住宅・公共建築課,区画整理課,土地区画整理事務所					

1 基本計画期間(平成 30 年度~ 令和 3 年度)における「施策の方針」 重点施策

- ・良好な住宅地形成のため土地区画整理事業の早期完成を目指します。
- ・住宅所有者に対して適正管理の啓発や相談体制の整備、住宅ストックの活用や流通に繋がる支援を推進します。
- ・引き続き土地区画整理事業に伴う公園整備とともに、借地公園の検討を進めます。また地域固有の水資源や歴史的資源を活用した公園などの整備を推進します。
- ・歴史的、文化的な景観及び自然景観を保全継承するために、景観に対する市民意識の醸成と、市民と行政の協働によるきめ細やかな景観形成を推進します。
- ・大井川焼津藤枝スマートIC周辺においては、雇用、定住、にぎわいを創出するための産業・観光交流拠点の整備を推進します。
- ・都市部や住宅密集地を中心に地籍調査事業の推進をします。

2 施策の目的(①対象③意図)と指標(②対象指標④成果指標)等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市域							
②対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	行政区域面積	km ²	見込み値 実績値	70.3 70.3	70.3 70.3	70.3 0.0	70.3	70.3	0.0
B			見込み値 実績値						
③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		良好な住環境が整っている							
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	暮らしやすいと感じている人の割合(市民意識調査)	%	目標値 実績値 達成率	64.2 65.8 102.5%	64.3 69.0 107.3%	64.4 0.0 0.0%	64.5	0.0	0.0
B	市街地整備率	%	目標値 実績値 達成率	38.1 38.4 100.8%	38.3 38.6 100.8%	38.5 0.0 0.0%	38.6	39.0	0.0
C			目標値 実績値 達成率						
D			目標値 実績値 達成率						
E			目標値 実績値 達成率						
F			目標値 実績値 達成率						

⑤成果指標の測定方法(実際に成果指標の実績値をどのように把握するのか) ⑥基本計画期間における施策の目標設定とその根拠

- | | |
|--|--|
| <p>A 市民意識調査 設問「あなたにとって、焼津市は暮らしやすいところですか。それとも暮らしにくいところですか。」</p> <p>B 区画整理課、土地区画整理事務所及び都市計画課資料</p> | <p>A 市民意識調査結果においては、60%台中半で横ばい傾向であるが、継続して都市基盤整備を推進していくことから、目標値は微増して行くものとする。</p> <p>B 大規模な開発行為や現在実施中の土地区画整理事業の事業計画に基づき実施していく整備面積を目標値とする。</p> |
|--|--|

⑦施策コスト (トータルコスト=事業費+人件費)		単位	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	56,997	102,949	15,149	72,849	56,199	850
		都道府県支出金	千円	1,390	84,011	78,760	78,760	78,760	78,760
		地方債	千円	102,115	118,400	9,000	26,200	26,200	0
		その他	千円	41,642	44,516	162,828	113,549	92,599	58,577
		一般財源	千円	799,828	859,427	411,174	676,860	652,029	34,653
事業費計(A)		千円	1,001,972	1,209,303	676,911	968,218	905,787	172,840	
人件費	正規	職員従事人数	人区	42.8	38.5	34.5	36.2	17.3	11.3
		職員延業務時間数	時間	82,263.0	73,954.0	66,310.0	69,463.3	33,237.3	21,762.3
		職員人件費	千円	329,792	299,292	236,926	241,871	79,038	23,830
		人件費計(B)	千円	329,792	299,292	236,926	241,871	79,038	23,830
経費	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	経費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)+(C)	千円	1,331,764	1,508,595	913,837	1,210,089	984,825	196,670	
この施策の事務事業数		本数	47	47	47	47	47	47	

施策マネジメントシート2(平成31年度目標達成度評価)

(施策名: 良好な住環境の実現)

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

ア) 住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)

- ・住んでいる地域のまちづくりには積極的に参画し、市民主体のまちづくりを進めます。
- ・公園などの公共施設の管理において、市民が出来ることは市民自らが行います。
- ・自宅の生垣づくりや事業場敷地の緑化に努めます。
- ・自宅の改修や適切な維持管理により、長寿命化に努めます。
- ・宅地開発関係法令などを遵守し、良好な環境の創出に努めます。

イ) 行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)

- ・公園整備や地域のまちづくりへの市民参画の機会を積極的に設けます。
- ・住宅ストックの活用や流通を促進するための環境整備を進めます。
- ・都市計画に関わる各種制度などを周知します。
- ・土地区画整理事業や公園整備事業を計画的に進めます。
- ・開発行為などの土地利用については、法令等を遵守させるとともに、周辺環境への影響に配慮するよう指導します。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化したが、令和2年度を見越して、今後どのように変化するか?

- ・住民との協働による環境整備の取組みが求められており、公園管理においては自らが出来ることをやろうとする市民団体が出来てきている。
- ・空き家の増加に伴い、適切に管理されていない空き家も増加していることから、空き家問題が更に深刻化することが予想される。
- ・都市公園法の改正により、公園内施設の設置管理基準が緩和されたことから、柔軟な施設整備が可能となると想定される。
- ・人口減少や少子高齢化が急激に進む中で暮らしやすい地域への人口の集積が更に加速すると考えられる。
- ・景観計画に基づき、特に焼津らしい景観地である浜通り周辺と花沢の里周辺の重点地区については、きめ細やかな景観誘導を進めることで、地区内はもとより市民全体への景観まちづくりに対する意識の向上につながっていく。

③ この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・子育て世代などから、公園の少ない地域への公園整備や緑化の推進が求められている。
- ・空き家による防災、衛生、環境、景観面の悪化に対する対応を要望する声が寄せられている。
- ・焼津らしい歴史的、文化的街並み景観の保全と継承、また良好な市街地景観の形成など、住み続けたいような景観まちづくりが求められている。
- ・大井川焼津藤枝スマートICや駅、港など地域特性を活用した賑わいのまちづくりが求められている。

4 施策の評価

① 施策の目標達成度(平成31年度の目標と実績との比較)

成果指標名	単位	平成31年度成果指標の達成度			結果
		目標値	実績値	達成率	
A 暮らしやすいと感じている人の割合(市民意識調査)	%	64.3	69.0	107.3%	○
B 市街地整備率	%	38.3	38.6	100.8%	○
C					
D					
E					
F					

*平成31年度施策の成果指標の達成状況及び要因

A: 目標を達成している。
市民意識調査の結果、市内全域の20代から65歳未満の方々においては目標を上回る実績値であり満足度は高く、また、住宅所有者(持家、分譲)についての満足度も実績値と同等であった。

B: 目標を達成している。
区画整理事業による市街地整備は、事業計画に基づき着実に実施していることを示している。

※○: 目標達成 △目標をほぼ達成(達成率95%以上) ×: 目標を未達成
指標名に(ー)があるものは、目標値より実績値が低いものを達成とする

② 施策の振り返り(住民と行政の役割分担を踏まえて、施策の目標達成に向けて、基本計画で掲げた「施策の方針」及び「基本事業の取り組み方針」にどのように取り組んだか。)

- ・焼津市南部土地区画整理事業については、道水路等全ての公共施設整備が完了し、着実な定住人口の増加など、快適な新しい都が誕生し、また会下ノ島石津地区は、事業計画に基づいた取り組みにより74.8%の進捗となった。
- ・焼津市南部地区内の石津西公園ほか3公園の完成と併せて、新たな整備手法となる借地公園に関する要綱(案)の策定に取り組み、また、新型コロナウイルス感染症対策として、都市公園等における団体利用の制限(3月6日以降)を行い感染防止に努めた。
- ・適切に管理されていない空き家の所有者に対し、法律及び条例に基づき助言や指導により29件が是正された。
- ・浜通り周辺地区については、特徴的な景観の保全と景観形成を図るため、新築及び増改築等に関する意向調査を実施して、景観誘導の新たな制度づくりに着手した。
- ・大井川焼津藤枝SIC周辺地区については、生活・産業・観光拠点として、地域住民と将来のまちづくりに関する意見交換会と、開発手法や各種制度に関する勉強会を開催した。

③ 施策の課題(基本計画で掲げた施策の「現状と課題」、「②施策の振り返り」を踏まえて、令和2年度、3年度に向けた施策の課題はなにか)

- ・焼津南部地区については、継続した保留地の販売促進と併せて、売完に向けた売却方針を決定する必要がある。
- ・公園(緑地)については、河川、海岸などの公共空地利活用及び地域の意向を踏まえた候補地の選定や借地による公園整備など、身近な場所で公園を利用できる環境づくりを検討すること、新型コロナウイルス感染症対策においては、引き続き関係部局と連携し迅速かつ適切な対応に努める必要がある。
- ・空き家、空き地については、更なる人口減少社会の進行により増加が懸念されるため、相続等による所有者不明地に関する不動産登記法や民法改正の方向性も踏まえ所有者へのサポート体制を充実させ、適正管理や利活用の促進につなげていく必要がある。
- ・良好な景観形成の推進については、市民や事業者の景観に対する意識の醸成や、特に重点地区においては、地域住民による推進体制の構築と併せて景観の保全、創出に繋がる制度が必要である。
- ・大井川焼津藤枝SIC周辺地区では、地区住民、関係権利者に対する意向調査の結果を踏まえ、関係機関や各種団体等の調整を図りながら、具体的なまちづくりの検討に対して丁寧かつ迅速な支援を行う必要がある。

焼津市